



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1

事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016

e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp

会長／井上 明彦 幹事／南 信行 クラブ会報委員長／関 幸博
SAA／小池 裕孝 副 SAA／村田 秀雄

第1268回例会 2013年（平成25年）10月20日（日）地区大会
第1269回例会 2013年（平成25年）10月26日（土）森林(もり)例会（延期）
第1270回例会 2013年（平成25年）11月1日（金）

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

会長挨拶 井上明彦会長

「ポール・ハリスの講話」

先週は地区大会参加お疲れ様でした。19日、第一日目の会議の中では辰野克彦 RI 会長代理の講話がありましたが、その中での P・ハリスの話の一部をご紹介します。

1938年サンフランシスコの国際会議で P・ハリスは「ロータリーは極シンプルである。哲学では無いしロータリーは単に奉仕理想で結ばれたビジネスマンと専門職の人々との団体である」と述べています。当時はロータリーの行動規範と解釈に大きな議論があったようです。P・ハリスは、自分の考えを他人に押し付ける人ではなかったようです。（納得）

「台風接近 森林例会事業の中止・延期」

26日の野々海高原での森林例会は台風27号接近のため延期になりました。県短期大学の生徒諸君の参加が予定されており、ことの安全上から関係委員会の中止の判断は適切だったと思います。

翌日のゴルフコンペも台風被災予想の為、中止延期にしましたが台風一過で晴天。慎重すぎた中止決定に同意しました。（中野委員長ともに赤面）

今回のリベンジ企画はきっと楽しいものになると期待しております。今日の例会も楽しくお付き合い下さい。

幹事報告 南 信行幹事

・長野北東ロータリークラブからの 駅前寄贈品設置提案について

11月のお祝い事

おめでとうございます



<会員誕生記念>
小山浩太郎さん
相馬栄治郎さん
山口 文男さん
<夫人誕生会員>
伊藤 園子さん
高井まゆみさん

<結婚記念会員>

伊東義次さん 柄澤重登さん 北川原健さん
松本克幸さん 中野欣哉さん 大橋東二郎さん
高井新太郎さん 若麻績信昭さん 山田友雄さん

米山記念奨学会より感謝状 綿貫隆夫さんへ



第3回米山功労者となりました。

11/8 本日のプログラム

ゲスト卓話 吉澤正己さん

ダメゼッタイ運動について 伊東社会奉仕委員長
受付のダメゼッタイ運動募金箱にご協力をお願い致します。11月中旬に送金予定です。

出席・ニコBOX報告 山本例会運営委員長

11/1 (会員56名) 出席33名前々回修正出席率81.63%

- ・山口文男さん☆先日の地区大会では、いろいろとありがとうございました。
- ・高橋英司さん☆マツタケコンペ中止で残念でした。
- ・綿貫隆夫さん☆韓日親善会議に出席しました。ソウルのミョンドンは、中国人であふれていました。大会では、国やメディアはねじれますが、民間としてロータリーは未来に向けて手を取り合って行きましょう。
- ・若麻績信昭さん☆竹村さん、卓話では5名の紹介をありがとうございます。プログラム委員長として。

・合計 12,500円 ・スヌーピー 5,187円

・累計 283,753円

第1268回 2013年10月19・20日(日)
2013~2014年度 地区大会

出席：13名 長野女子高等学校IACの皆さん 3名
ホスト：あづみ野RC 於：ホテルブエナビスタ



第1日目 10月19日(土)

地区諮問委員会・会長、幹事会・本会議
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

(会長・幹事・伊東地区社会奉仕委員長)

第2日目 10月20日(日)

7:30 ホテル国際集合 東口経由

9:30~ 第1回本会議

12:00~ 昼食

12:45~ コンサート

13:10~ 青少年アワー

14:40~ 記念講演：田部井淳子氏

「人生は8合目からが面白い」

16:10~ 第2回本会議

会員卓話 竹村利之さん

「ゆったりと歴史が流れる城下町…松代」



私が松代の建物の保存修理に係ったのは、真田信弘霊屋の設計監理を30年前に行ったことから始まります。この建物は長野県宝に指定されており真田家の4代当主に当ります。元文2年(1737年)に亡くなり、直ちに建立されたものです。

この松代は、信玄による海津城の築城、真田氏の入封以来城下町として存続してきました。今もなおゆったりと歴史が流れているようなこの町は、城下町時代の歴史絵巻を再現しているかの様なたたずまいを感じさせます。長い土塀と、重厚な門に囲まれた武家屋敷、街道沿いに残されている古い町家、南東部にお城を守るように配置された寺々、そして町の中を巡る水路、これらは松代の歴史を語ると共に、城下町の景観を構成している主要な要素となっております。

武家屋敷は、門とせんざいと呼ばれる前庭・主屋・泉水(池)、泉水路と呼ばれる水路と農地によって構成されているのが一般的です。この泉水路は家から家を流れ、生活用水として重要な役割を担っておりました。文化財としての武家屋敷はいくつかありますが、2年前に修復された樋口家は現在地域住民の町づくりのために活かした施設として活用され、注目されております。

武家の建坪や式台また門の形式等は石数によって定められておりました。たとえば式台について挙げると、千石以上は3間、500石以上は2間半、300石以上は2間、100石以上は1間以下とされ、この形式は松代の城下町の地区割りに確実に残されております。

松代の城下町(武家屋敷)としての景観は、全国的レベルから見ても比較的多く残されていると評価を受け、長野市も街並み保存にかなりの力を注いできたところでした。

例会案内

11月17日(日) 北信第1グループ IM

*15日(金)の例会はありません

11月22日(金) ゲスト卓話 IACの皆さん